



週間情報



No.2138

発行日 平成21年10月13日

発行所 全国消防長会

(財)全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 役員会等会議の開催について

全国消防長会・(財)全国消防協会

標記について、次のとおり開催を予定しています。

月 日	会 議 等	開催時間	開催場所
10 月 29 日 (木)	全国消防長会 常任理事会	13時00分 ～ 13時30分	広島県 広島市南区松原町1-5 「ホテル グランヴィア広島」 TEL 082(262)1111
	財団法人全国消防協会 理事会・評議員会	13時40分 ～ 14時20分	
	全国消防長会役員会 第32回全国消防職員意見発表	14時30分 ～ 18時00分	

◆ 「インドネシア西スマトラ州パダン沖地震災害」に対する国際消防救助隊の帰国について

全国消防長会

標記について、インドネシア共和国西スマトラ州パダン沖地震災害に対して派遣されていた国際消防救助隊が下記のとおり現地活動を終了し、帰国しましたのでお知らせします。

記

1 地震の概要

(1) 発生日時

平成21年9月30日(水) 19時16分頃

(現地時間9月30日17時16分頃 ※時差：当地-2時間)

(2) 震央地名

インドネシア・スマトラ島南部インド洋上(南緯0.9°、東経99.9°)

(3) 震源の深さ

約85km

(4) 規模

マグニチュード7.6(推定値)

2 解隊式

(1) 日時

平成21年10月8日(木) 12時10分

(2) 場所

総務省 1階 アトリウム

3 国際消防救助隊の構成(17名)

総務省消防庁 1名

東京消防庁 6名

札幌市消防局 3名

福岡市消防局 3名

さいたま市消防局 2名

横須賀市消防局 2名

4 現地活動期間

平成21年10月2日(金)～10月5日(月)

5 現地における主な活動
被害評価及び捜索活動



消防本部の動き

◆ 平成21年度「救急広場」を開催

当局では、例年、市民に救急医療及び救急業務に関する知識の普及、啓蒙を図り救急業務の理解と認識を高めることを目的に「救急医療週間」の行事の一環として、「救急広場」を開催しました。

市民の「救急救命」に対する関心は年々高くなっており、来場者数は、概ね1,000名となり、市民の救急医療及び救急業務に対する関心が高いことが伺えます。また、この機会に併せて、救急車の適正利用及び住宅用火災警報器の普及啓発についても実施しました。

開催概要は次のとおりです。

- 1 実施年月日
平成21年9月12日（土） 10時30分～13時00分
- 2 実施場所
市川市鬼高1丁目1-1 ニッケコルトンプラザ内
「コルトン広場」及び「コルトンホール」
- 3 協力機関
日本毛織株式会社市川コルトンプラザ、富貴島幼稚園
- 4 実施内容
 - (1) 救命講習（乳児・学童・成人 AED）
 - (2) 消防音楽隊の演奏
 - (3) 高規格救急車及び救急資器材の展示
 - (4) 応急手当啓発DVDの放映
 - (5) ちびっ子記念撮影
 - (6) 血圧測定体験コーナー
 - (7) 女性消防団員を「1日救急隊長」に任命し、救急広場のPR及び各種イベントのサポートの実施
 - (8) 救急車の適切な利用方法の普及啓発
 - (9) 住宅用火災警報器設置の普及啓発

市川市消防局（千葉）



◆ 豪雨災害の問題点を検証 =医師会と救急懇談会実施=

佐用町消防本部（兵庫）

平成21年9月29日に佐用町消防本部と佐用郡医師会は、去る8月9日に発生した兵庫県西、北部豪雨による、消防と各医療関係機関の被災状況や救急対応状況の確認と合わせ、この災害により判明した問題点を検証するための救急懇談会を開催しました。

この懇談会には、町内の医療機関から医師と看護師のそれぞれ5名と、消防からは救急救命士ら6名の計16名が出席しました。

席上医師側からは、他都市の医療チームが早い段階で応援に来ていたにもかかわらず、当初消防も医師会も知らなかった事実がありました。災害対策本部が全ての指示を出すのには無理があり、権限を分担するのもひとつの手段ではないかとの意見や、停電で有線電話が使えず、連絡手段として携帯電話が有効であったことから、医療関係者と消防のメーリングリストを作成してはどうかなどの提案がありました。

被災直後は、水没によりCTやMRIなどの検査機器が全く使用できなくなったり、ライフラインがストップした医療機関がある中で、救急要請は通常時の約6倍にも達する日があったことから、この経験を生かすために今後も懇談会や合同訓練を行い、災害発生時にはお互いが情報共有し、迅速に対応する体制づくりを更に進めていくことを確認しました。



◆ 新庁舎完成

当消防本部では、建設中だった新庁舎が完成し平成21年9月15日（火）から運用を開始しました。

新庁舎には高機能消防指令センターも導入され、データ検索などの処理能力を高速・高機能化し、119番通報の受信から出動に至るまでの時間短縮と支援情報等による迅速かつ的確な消防活動が可能となりました。新庁舎は消防本部の機能のほか、防災センターの機能も併せ持っています。

また、防災センターは災害時には一時避難施設、食糧等の備蓄庫及び災害対策室を設け、災害活動時の拠点施設となり、平常時は各種講習の開催が可能な研修室、地震体験、ミニシアター、119番通報訓練や消火体験ができる展示ホール、消防職員の災害活動技術の向上を図る訓練施設などを備えています。

今後も、消防体制の強化を図り、安全安心なまちづくりを推進するとともに、市民に開かれた消防本部を目指します。

佐渡市消防本部（新潟）



◆ 「2009消防駅伝in福岡」の開催について

福岡市消防局（福岡）

各消防（局）本部職員間の親睦及び健康増進を目的に、恒例の消防駅伝大会を下記のとおり開催いたします。全国の消防本部のみなさんの参加をお待ちしております。

記

1 日時等

- (1) 平成21年11月21日（土）
- (2) 選手受付 9時30分（受付テント）
- (3) 開会式 11時00分（運営本部テント前）
- (4) スタート 11時30分

2 場所

「国営海の中道海浜公園」サンシャインプール北側の周回コース
（福岡市東区大字西戸崎）

3 競技実施方法

(1) 駅伝

- ① 5区間16km（コース8周）
（1区：5km、2区：3km、3区：5km、4区：3km、5区：5km）
（5km・・・コース2周 3km・・・コース1周（一部折返し））
- ② 1チーム8名以内（監督1、選手5、補欠2 ※年齢制限なし）

等の一部を改正する省令」(平成21年総務省令第93号)、「誘導灯及び誘導標識の基準の一部を改正する告示」(平成21年消防庁告示第21号)及び「非常警報設備の基準の一部を改正する件」(平成21年消防庁告示第22号)を平成21年9月30日に公布しました。

※ 全文は、消防庁ホームページ(<http://www.fdma.go.jp/>)に掲載されています。

【連絡先】 予防課

担 当：藤原補佐、荒川事務官

TEL：03-5253-7523 (直通)

FAX：03-5253-7533

◆ **第9回危険物事故防止対策論文募集**

消防庁・危険物保安技術協会

消防庁が統計を取っている危険物施設における火災・流出事故件数は、平成20年が560件(岩手・宮城内陸地震及び岩手県沿岸北部を震源とする地震による3件を除く。)で前年に比べて43件の減少となりました。しかしながらその件数は未だ高い水準にあり、今後も事故防止対策に取り組んでいく必要があります。このような状況をふまえ、安全で快適な社会造りに向けて、危険物に係る事故の防止に関し、第9回危険物事故防止対策論文を募集いたします。

「危険物の事故防止に関するものであれば、どなたでも応募できます！」

1 論文の内容

危険物に係る事故防止に関するもので、次のようなもの

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ①提言、アイデア、経験等 | ②職場等の安全対策 |
| ③事故の拡大防止 | ④事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法 |
| ⑤事故の分析 | ⑥安全対策技術 |
| ⑦危険性評価手法 | ⑧危険物、少量危険物及び指定可燃物に係わる安全 |
| ⑨安全の科学技術 | ⑩事故防止対策に関するその他のもの |

2 応募資格

特に制限はありません。どなたでも応募できます。

3 募集締切日

平成22年1月31日(日)必着

4 選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

5 賞

消防庁長官賞	賞状及び副賞(20万円)	<2編以内>
危険物保安技術協会理事長賞	賞状及び副賞(10万円)	<2編以内>
奨励賞	賞状及び副賞(記念品)	<若干名>

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

受賞された場合はご本人に連絡するとともに、

総務省消防庁のホームページ(<http://www.fdma.go.jp/>)並びに

危険物保安技術協会のホームページ(<http://www.khk-syoubou.or.jp/>)及び

機関誌「Safety & Tomorrow」に発表いたします。

6 応募方法

- (1) 論文は、未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。(一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。)
- (2) 受賞論文は危険物保安技術協会の機関誌と危険物等事故関連技術情報に掲載し、応募論文は返却いたしません。
- (3) A4(字数換算:1ページあたり40字×40行程度)1枚以上10枚以内程度としてください。
なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4(1ページあたり1,600字程度)で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。
- (4) 論文は、論文タイトル、氏名(ふりがな)、勤務先名称及び所属、勤務先住所、自宅住所、連絡先(勤務先又は自宅の電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)を記載した用紙を添付のうえ8のあて先(E-mail可)までお送りください。

- 7 協賛
全国消防長会、(社)日本損害保険協会、石油連盟、石油化学工業協会、
(社)日本化学工業協会、電気事業連合会、(社)日本鉄鋼連盟、(社)日本火災学会 (順不同)
- 8 あて先及び問い合わせ先
危険物保安技術協会 危険物等事故防止技術センター 企画調査課
〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 神谷町セントラルプレイス
TEL 03-3436-2356 FAX 03-3436-2251 <http://www.khk-syoubou.or.jp/>
- ※ 本件については、消防庁のホームページ (<http://www.fdma.go.jp/>) 及び危険物保安技術協会のホームページ (<http://www.khk-syoubou.or.jp/>) にも掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp